

**Q** 事故の多発している場所の整備は、どのように進めているのか。

**A** 市民部長 関係機関と事故発生要因と対応策を協議の上、注意喚起の看板の設置、市道であれば、路面標示の補修等を行っています。

**Q** 交通危険箇所は、早急に整備を図るべきと思うが、市長はどうか。

**A** 市長 今のお話は、「必要な整備については、時間をかけないでやれ」ということでございますので、出来るだけ、そのようにしていくべきだと思っています。そのようにお聞きいたしました。

**Q** 通学路について、現在、市では、通学路の認定はどのようにしているのか。

**A** 教育部長 小学校は各学校ということで、安全を第一に指定をしています。中学校は家庭の判断によって、安全に通学できる道を選択して通学しております。学校で

は、その道を通学路と考えているところです。

**Q** 近年、市内の通学路内での事故発生件数は。

**A** 教育部長 発生件数は3年間で、小学校6件、中学校10件の合計16件です。年度別に、平成21年度は、小学校2件、中学校5件、平成22年度は、小学校3件、平成23年度は、小学校1件、中学校5件という件数です。

**Q** 内容別に見ますと、小学校では、自転車等の接触が1件、車等の接触が5件、中学校では、10件すべてが車等の接触という事故の形態でした。

**Q** 通学路の点検は随時しているのか。

**A** 教育部長 日常的な点検は、各学校・PTA等と一緒に随時行っています。

**Q** 過去3年間の事故の報告の答弁をいただいたが、事故場所の検証はしているのか。

**A** 教育部長 事故があった当時は、教育委員会も立ち会って、確認

はしていると思えますけれども、現在、確認の作業は継続的に続いているのかと言われれば、そのような形にはなっていないと思います。

**Q** 今現在、市内において、通学路の整備や看板設置など、対策必要箇所はあるのか。あるとすれば、どの程度あるのか。

**A** 教育部長 1学期に行いました各学校での通学路点検から、危険があると思われる箇所を抽出し、その結果、47か所の危険箇所が認められており、件数で申し上げますと、79件です。

**Q** その79件の対策必要箇所の整備の進捗状況はどうか。

**A** 教育部長 8月から9月にかけて、私も教育委員会、山武警察署、山武土木事務所、印旛土木事務所、本市の土木課、各学校等が立ち合い、通学路総点検を実施したという段階で、各関係部署が確認をしているという状況です。

**Q** 79か所の対策必要箇所はいつから整備に入るのか。

**A** 教育部長 山武土木事務所のほうは、現

有予算で対応できるものは、既に着手していただいております。ただ、時間のかかるものについては、関係機関との連絡をとりながら、要望を進めていきたいと考えています。

**A** 市長 歩道の設置・整備につきましては、本当に長い年月を要してきておりますし、それがもう24か所ございます。やれるところは、できる限り早くやるということにしていきたいと思っています。

**Q** 個人質問



小川 良一 議員

**Q** 市道及び農業排水路の整備について

国土交通省によれば、日本の79・6%

**Q** %ほど低い舗装率だが、市長はどう捉えているのか。

**A** 市長 私の感覚でも、ふだん通るところは、ほとんど舗装されておりますし、かなりの部分が舗装されているという感覚を持っています。

**Q** 平成20年頃からの土木課への要望件数は

**A** 都市建設部長 平成21年3月現在で、道路総延長は1千282キロメートル、うち舗装延長が884キロメートルで、舗装率は69%となっております。各地区別の舗装率ですが、成東地区72%、山武地区65%、蓮沼地区74%、松尾地区66%です。

**Q** 全国から見ても、10%ほど低い舗装率だが、市長はどう捉えているのか。

**A** 市長 私の感覚でも、ふだん通るところは、ほとんど舗装されておりますし、かなりの部分が舗装されているという感覚を持っています。

**Q** 平成20年頃からの土木課への要望件数は

**A** 都市建設部長 平成19年度から5か年を集計してございます。要望件数は673件、うち、処理済が318件、実施率が47・3%です。

**Q** 要件数の中で、排水路関係で、柵渠工事などの要望もあるか。

**A** 都市建設部長 当然含んでおります。

**Q** 要望673件中、半数以上の未処理の件数を今後どのように対応していくのか。

**A** 都市建設部長 例年、要望件数が増加傾向にあります。予算規模に応じて対応しているところですが、今後におきましても、緊急性、重要性等を考慮しながら取り組んでまいりたいと思っています。

**Q** 市長は、来年度以降、そういう要望に応えていこうという考えはあるか。

**A** 市長 財政の状況を見通しながら、厳しい予算立てをしなければ



市道の舗装工事